



ほけんだより

11月号

2024年11月 6日

大津あいあい保育園

暑さもおさまり、秋らしくなってきました。日中との寒暖差もあり、空気も乾燥してくることから、風邪をひきやすい時期でもあります。本格的な冬に向けて、基本的な手洗いをはじめ、規則正しい生活を心がけ、感染症に負けないじょうぶな身体をつくりましょう。

マイコプラズマ肺炎にお気をつけください！

夏場から継続して全国で増加しています。

園内でも似た症状のお子さんが続いて出ていましたので、ご注意ください。



症状…初めに風邪と似た症状が現れたあと、徐々に咳が出始める傾向です。

咳は1ヶ月ほどしつこく続くのが特徴で、早朝や就寝前に、ひどく咳き込む場合もあります。

潜伏期間…14日～21日

予防方法…手洗いやうがい、マスクの着用、アルコール消毒

△ 乳幼児や高齢者、喘息の子は重症化しやすいのでご注意ください。

△ 検査をしても結果が出にくいことも多いそうです。

登園停止は決められていませんが、以下のような場合は【**登園を控えるのが望ましい**】とされています。

- ・夜間しばしば咳のために起きる
- ・喘鳴や呼吸困難がある
- ・呼吸が早い
- ・元気がなく、機嫌が悪い
- ・食欲がなく、朝食、水分が摂れていない
- ・少し動いただけで咳が出る

インフルエンザの予防接種あれこれ



風邪よりも症状が重く、感染力も強いインフルエンザ。乳幼児がかかると肺炎やインフルエンザ脳症を引き起こすことがあります。予防接種を受けておくと、万が一かかっても軽症で済んだり、合併症を防ぐ効果が期待されます。

◆接種するとかからない？

◇必ず感染を防げることはありませんが、肺炎や脳症などの合併症や重症化を防ぐことは期待できます。

◆どのくらい予防接種

効果が続くの？

◇接種後、効果が表れるまでに約2週間かかり、その後半年くらい効果が続きます。

◆インフルエンザ脳症って？

◇発症から早い時期に、けいれんや意識障害を起こす、急に怒る、怯える、うわごとを言うなど、普段とは違う様子が見られる。みられればすぐに受診しましょう。

◆接種の方法は？

◇生後6ヶ月から受けることができます。13歳以上は1回接種、以下は2回接種が必要。1回目接種後、2～4週間空けて2回目を接種します。卵アレルギーの方は、医師との相談が必要です。

◆いつ頃受けた方がよい？

◇患者数が増えるのは1月～2月ですが、流行するのは12月頃からです。それまでに免疫をつけておこうと思うと、1回目を10月後半に受けるのがよいでしょう。



今月の身体計測

10月14日(木) 湖・めだか・ほたる
15日(金) かもめ・宙・さくら



4歳児 視力聴力検査

11月21日(木)、25日(月)
どちらかの日で検査をします。

